

■科目名

教育原論

Principles of education

■開設年度

2021

■区分

学部共通基礎科目

■学科名

教育学

■分類

■単位数

2

■履修期

1期

■履修条件

■開講期

前後

■担当教員

前田 晶子

■代表教員名及び連絡先等

099-285-7787

maedaaki@edu.kagoshima-u.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日12:10-12:40

授業終了後にも質問等を受け付けます。随時、メールでの問い合わせにも対応します。

■講義の概要（目的・内容・方法）

本講義は、「教育とはなにか」を理論的・歴史的に学ぶことを目的としている。特に、「教育」を成り立たせる社会関係を理解することを到達目標とする。

学校における教師-生徒関係のみならず、学校-社会の関係、親-子の関係、知識-人間の関係など、さまざまな角度から「教育」の役割や課題について考えていく。

受講者には、自身の教育経験を相対化して捉えると同時に、「教育」の成り立ちについて学ぶことを通して、これからの教職において求められる教育のあり方について考察を深めてもらう。

講義は、基本的にZoomでの説明、manabaへの資料提示を平行して行う。受講者には毎回の小レポートに取り組んでもらう。ただし、Zoomについては、コースニュースで随時連絡するので確認してほしい。

また、最終レポートについては、提出前1週間の期間に、Zoomやメールを通じて個別指導に対応する。

■授業の到達目標及びテーマ

本講義の到達目標は以下の点である。

- (1) 「教育思想」の歴史的背景について理解する
- (2) 人間形成の諸概念における「教育概念」の特徴について理解する
- (3) 教育改革をめぐる世界的動向を理解する

■授業計画

- 1 インTRODクシヨソ
- 2 教育をどのように捉えるか（教科書第1章）
- 3 教育と形成の課題（第2章）
- 4 公教育の組織化（第3章）
- 5 教育を「子どもの権利」から考える（別途資料配付）
- 6 西洋教育思想の源流（第4章）
- 7 宗教と教育（第5章）
- 8 近代教育の思想（第6章）
- 9 近代学校の誕生と展開（第8章）
- 10 日本における近代以前の人間形成（第9章）
- 11 日本型の学校の形成（第10章）
- 12 戦後の学校（第11章）
- 13 資質・能力と学力（第14章）
- 14 現代における教育の課題（1）
- 15 現代における教育の課題（2）

試験は行わず、指定期日までにレポート提出を求める。

■授業外学習（予習・復習）

予習：シラバスを参考に、事前に教科書の講読を行う。

復習：講義の内容に関して、提示した教科書や関係資料を参照し、更に個別に情報収集を行う。

随時：講義中に出す小レポート課題に取り組む。

■受講要件

■成績の評価基準

最終レポート（65%）、毎回の講義において提出する小レポート（35%）

■教科書・参考書

教科書：汐見稔幸・木村元編著『アクティベート教育学01 教育原理』ミネルヴァ書房2020.3

参考資料：中内敏夫『教育思想史』岩波書店1998年

■教師としての資質能力に関するチェック項目

1. 教職の意義（使命感・倫理観等）に関する理解

【A教職の理解】教職の意義と役割を理解し、教育的愛情に支えられた使命感や職責感を持っている

2. 教育の理念、制度、歴史等に関する理解

【A教職の理解】教育の理念を理解し、教育の制度や歴史・思想に関する基礎的な知識を身に付けている

アクティブ・ラーニング

振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング（授業回数）

15回中13回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他